
【ケアプロ通信 vol.49】 11 月度ニュース:「誰のために、生きるのか。」

平素より、お世話になっております。

今朝の、大きな地震に驚いて起きた方も多いと思います。

東日本大震災の余震域で発生しており、今後一週間は地震に注意というニュースがありました。

予期せぬことが起きると、驚きや焦りで誤った行動を起こしてしまうこともありますが

注意をしていれば、いざというときに、落ち着いて行動することができるのではないのでしょうか。

不測の事態に備えるには、まずは「健康」であることが大事だと思います。

ケアプロでは「誰でも当たり前健康になれる世の中を」

みなさまの健康を応援してまいります。

それでは、11 月度ニュースをお届けいたします。



先月ご案内したオフィスのシェフレラ
剪定した部分から新しい葉っぱが！
とても可愛くて1日に何度もながめます

▼代表 川添高志からのメッセージ

◆◇トランプ現象からの学び◆◇

トランプが米大統領に選ばれました。

「誰のために、政治をするのか。」

富裕層やマイノリティよりも、
中間層の白人のため。

右寄りのトランプが、
左寄りのヒラリーに勝利。

そして、「分断」と言われますが、
裏を返せば、それだけ「つながり」が強くなり、
得やすく、奪われやすくなってきたのだと思います。

「誰のために、生きるのか。」

私たちは、
誰かを優先し、
誰かを劣後にしています。

現実社会では、どうなるかわからないトランプをひくのではなく、
自分の意志でカードを選ぶことができます。

社会と会社、仲間、家族、自分のつながりを
改めて見つめなおしていきたいです。



▼予防医療事業部より 11 月度進捗のお知らせ

1)利用者数 38 万人突破しました！

2016 年 10 月末時点で累計の利用者数が 381,095 人となりました。
11 月もパチンコ店や競輪場、住宅展示場にスーパー、そしてオフィス等
全国のいたるところにメンバーが出張しております。
今後も、多くの方に御利用、御満足頂けるサービスを提供出来ますよう
エンドユーザーの健康に真摯に取り組んで参りたいと思います。

2)HP にて催事スケジュール更新しました！

今まで駅や SC 催事は、直近のスケジュールしかお伝えできませんでしたが、
少し先のスケジュールも HP にてお伝えできるようになりました。
今後も増えていきますので、随時更新していきます。

— 催事スケジュールはこちら

http://carepro.co.jp/wp201604/wp-content/uploads/2016/04/201611_event.schedule.pdf

▼在宅医療事業部より 11 月度進捗のお知らせ

事業部長の前田和哉です。

高齢の要介護者を同年代が介護していることを、「老老介護」といいます。
夫婦で介護合っている家庭、兄弟で支え合っている家庭など形は様々。
親が 90 歳を超えているケースなど、子が看待いても老老介護になっているようなお宅もあり、
こういったご家庭は全国的に増え続けています。

現に介護が必要なお宅のうち「介護する人、される人ともに 65 歳以上」は
2001 年には 38.3%でしたが、2013 年には 49%と、3 割も増加しています。
※2013 年「国民生活基礎調査」(介護票)による

中にはキーパーソンの方の記憶力が落ちてきているケースも散見され
詐欺に遭う可能性や、逆に受けたサービスを覚えていられずにトラブルに発展するなど
これから益々多方面に問題は出てくるだろうと感じます。

成年後見人制度も含めた社会制度、資源をフル活用しながら
ご自宅で 24 時間安全な生活を、これからもサポートしていきたいと思ます！

▼国際医療事業部より 11 月度進捗のお知らせ

去る 11 月 8 日、インド政府からの突然のニュースに騒然となりました。
高額紙幣(1,000 ルピーと 500 ルピー)が、翌日より廃止されされるというもの。

インド 突然の高額紙幣廃止で混乱拡大？

<http://www.afpbb.com/articles/-/3107532>

<http://www.nikkei.com/article/DGXMZO09429310R11C16A1000000/>

11 月 13 日時点でもまだ、銀行には両替のための長蛇の列が出来ており、
混乱が収まる様子は見られませんでした。
紙幣自体は 12 月まで両替期間が設けられているとのことですが、
今回の政府の対応には流石に批判も相次いでいるようです。
特に、アンダーグラウンドな経済活動も依然として多いインドでは、
小売店など現金商売の方に大打撃必至。本当に貧しい人は
個人の預金口座も持っていないため、預入も出来ない始末。
インドの友人の中には、ハウスキーパーなど対応に苦慮している
方々をサポートしようと呼びかける人もいました。

ハイパーインフレもなく、ある日突然紙幣が紙切れになる、
というのには驚きました。This is India と言ってしまえばそれまでか。

異国の地では、なかなかどうして想像を超えた事態に直面するものですが、
耐性は身につけつつ、落ち着いて対処できるようにして参りたいと思います。

